

事業所名

児童発達支援 にじいろハウス

支援プログラム

作成日

令和7年5月1日

法人（事業所）理念	お子様1人1人の可能性を伸ばし、ご家族と共に喜び健やかな成長を見守ります							
支援方針	個別療育とグループ療育の2本柱でお子様の“できた”を楽しみながら育みます							
営業時間	9時00～18時00分	サービス提供時間	午前クラス	9時45分～13時00分	午後クラス	14時00分～17時15分	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>○心身の健康状態及び変化の把握</li> <li>○過ごしのなかで基本的な日常生活動作の獲得ができるよう支援を行う</li> <li>○療育活動を通し、チャックやボタン、食具の使い方、紐の結び方等の習得を目指す</li> </ul>						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>○遊びや療育活動を通して様々な感覚に刺激を与え、動作や感覚の向上を目指す</li> <li>○リズム体操やサーキットといった粗大運動から、動作感覚や体幹の土台形成を行う</li> <li>○五感遊びを行い、感覚特性への対応や保有する感覚の活用を行う</li> </ul>						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○色水遊びやリズム遊び、感触遊びといった療育活動から、色・音・形の変化やその過程を知り、知覚機能の発達を促す</li> <li>○個別療育時に大きい小さい、数字と数量、重い軽いといった時間感覚を含めた概念形成を図る</li> <li>○過ごしや遊び、療育教材を通し、取得した情報を過去の経験情報からの確かな判断や行動につなげることができるよう支援する</li> </ul>						
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>○共同注意（注視）の向上を促す○年齢や特性に応じ、指差しや身振り手振り、サインや支援ツールを用いて相互コミュニケーションの発達を支援する</li> <li>○待つ、聞くといった言語コミュニケーションの土台形成を図る○絵本の読み聞かせや絵カード（フラッシュカード）等を用い、物の名前や語彙が増えるよう支援する</li> <li>○個別とグループの両療育を通し、文字の読み書きの獲得を図る</li> </ul>						
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○環境・大人やお友だちに対し、安心感や信頼感といった情緒的な安定が育まれるよう、職員との信頼関係を形成する</li> <li>○模倣活動から社会性や対人関係の芽生えの促進を促す○守られた環境下で一人遊びから平行遊び、協同遊びへと発展・移行していけるよう支援を行う</li> <li>○職員が介入することで本人の気持ちの整理や感情の起伏を知り、調整できる力を育む○グループ療育を通し、小集団への参加、簡単なルールの理解、交渉・譲歩できる力を伸ばす</li> </ul>						
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ご家族及び介護者の相談に対する助言</li> <li>○ご家族及び介護者のリフレッシュ</li> </ul>			移行支援	○幼稚園・保育園、小学校等への情報共有			
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>○併用事業所及び相談支援事業所との情報共有</li> <li>○姉妹保育園との交流○地域行事への参加</li> </ul>			職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○初任者研修○虐待防止研修○感染症予防研修</li> <li>○ケース検討会○BCPの周知</li> </ul>			
主な行事等	○季節行事○ご家族向け茶話会等の実施							